

よこはま動物園ズーラシアから 台湾の台北市立動物園へ マレーバクの「ひでお」が出園します

令和6年6月21日(金)に、よこはま動物園で飼育しているマレーバクのひでお(オス・2歳)が、(公社)日本動物園水族館協会マレーバク管理計画に基づき、台湾の台北市立動物園に出園します。海外搬出に伴う検疫のため、5月21日(火)に園内の動物病院へ移動します。当園での公開は5月20日(月)が最後となる予定です。

新天地で種の保存に貢献してくれることを期待しています。



▲今回出園する個体(愛称:ひでお)

●ひでおについて

ひでおは、令和4年1月12日によこはま動物園で誕生しました。当園では17年ぶりに誕生し、母親ロコの愛情を一身に受けてすくすくと成長しました。少し臆病なところがありますが、ブラッシングが好きな、穏やかな性格です。台湾での種の保存に貢献してくれることを期待しています。

当日の取材について

動物の搬出当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 045-959-1298

【参考資料】

■ 個体情報

- ・ 今回出園する個体

| | |
|---------|----------------------|
| ひでお（オス） | 令和4年1月12日 よこはま動物園生まれ |
|---------|----------------------|

■ マレーバクについて

| | |
|------------------------|--|
| 和名 | マレーバク |
| 英名 | Malayan Tapir |
| 学名 | <i>Tapirus indicus</i> |
| 分類 | 奇蹄目 バク科 |
| 分布 | ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島 |
| 生態 | 現存するバク 4 種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことで知られている。他のバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴。熱帯雨林の森の中で単独で生活し、木の葉や草などを餌とする。水辺を好み、泳ぎも巧み。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されている。 |
| ワシントン条約 (CITES) | 附属書 I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの |
| 国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト | 絶滅危惧種 (EN)：近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの |
| 当園飼育頭数 | 2 頭（オス 1 頭、メス 1 頭）※今回出園する個体は含まず |
| 国内飼育園館 | 13 園 34 頭（オス 19 頭、メス 15 頭、）令和 6 年 3 月末現在 |

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆ 開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆ 休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※3/23～5/6 まで無休
- ◆ 交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 18 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆ URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆ 問合せ先：045-959-1000